

HPV ワクチンによるがん予防 積極的勧奨とHPV 関連のがんについて

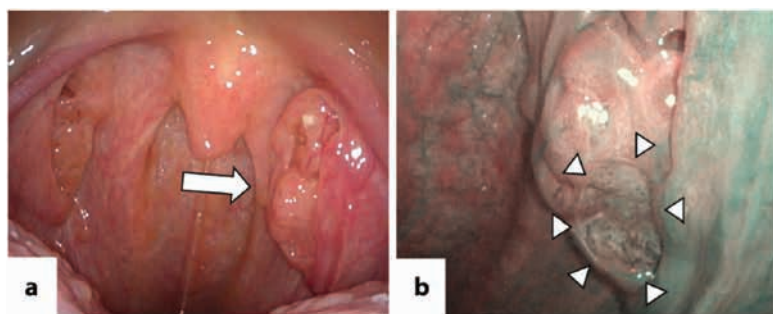
開催概要

【開催趣旨】

ヒト乳頭腫ウイルス（HPV）は、子宮頸がんの原因ウイルスであるとともに中咽頭がんや喉頭乳頭腫の原因となることが明らかとなっています。これらの疾患の治療とともに、予防について医学界とともに世間の注目を集めています。

現在、日本国内で使用できる HPV ワクチンは、サーバリックス（2 価 HPV ワクチン）、ガーダシル（4 価 HPV ワクチン）、シルガード 9（9 価 HPV ワクチン）の 3 種類があります。サーバリックスとガーダシルは、以前より定期接種として公費で受けることができましたが、令和 5 年 4 月からシルガード 9 についても公費で、定期接種が開始されております。

この機会に、HPV 関連の各種疾患の理解とともにワクチン接種の重要性について、また男性へのワクチン接種の意義について広く県民に知っていただくために本セミナーを次の通り開催いたします。



a 左中咽頭（扁桃）の癌（矢印）
b 特殊光で観察すると色調と血管の変化が見られ癌と診断できる（△）

Okami K. IJCO 2016

主催

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会神奈川県地方部会
神奈川産科婦人科学会・日本小児科学会神奈川県地方会

担当会長

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会神奈川県地方部会 部会長 **沖久 衛**

名称

関連3学会ジョイントセミナー

テーマ

HPVワクチンによるがん予防
積極的勧奨とHPV関連のがんについて

日時

令和5年7月13日(木) 14時00分～

会場

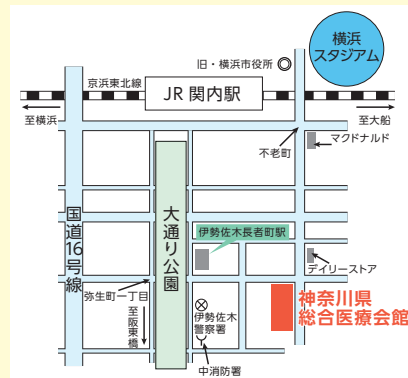
神奈川県総合医療会館 7階講堂
横浜市中区富士見町 3-1

対象

マスメディア各社

後援

神奈川県医師会・横浜市医師会



事務局

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 神奈川県地方部会事務局 関根・中弘

〒231-0037 横浜市中区富士見町 3-1 電話 045-241-7000 FAX 045-242-9148

メールアドレス jibikaka@kanagawa.med.or.jp

ホームページ https://www.kanagawa-jibika.com

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会神奈川県地方部会

神奈川産科婦人科学会・

日本小児科学会神奈川県地方会ジョイントセミナー

— HPV ワクチンによる予防 積極的勧奨と HPV 関連のがんについて —

プログラム

総合司会 **大上 研二**

開会のご挨拶 (14 時 00 分～ 14 時 05 分)

沖久 衛 (日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会神奈川県地方部会 部会長)

セミナー

1. HPV ワクチンの現状 (14 時 05 分～ 14 時 25 分)

宮城 悦子 (横浜市立大学産婦人科学 主任教授)

2. ワクチン接種の障壁 (14 時 25 分～ 14 時 45 分)

勝田 友博 (聖マリアンナ医科大学小児科学 准教授)

3. HPV による“のど”のがん～中咽頭がん～が増加しています

(14 時 45 分～ 15 時 05 分)

山下 拓 (北里大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

4. HPV ワクチンの男性への接種の現状と展望 (15 時 05 分～ 15 時 25 分)

折館 伸彦 (横浜市立大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

———— 休憩 (5 分) ————

総合討論

(パネルディスカッション) 15 時 30 分～ 15 時 55 分

座 長 **大上 研二** (東海大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

小森 学 (聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学 主任教授)

パネリスト **宮城 悦子、勝田 友博、山下 拓、折館 伸彦**

閉会のご挨拶 (15 時 55 分～)

藤岡 治 (日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会神奈川県地方部会 副部会長)